

令和4年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

未来創生文化部

目 次

| | | |
|-----|------------------------|----|
| I | 令和4年度未来創生文化部主要施策の成果の概要 | 3 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 6 |
| III | 歳入歳出決算額 | 18 |
| 1 | 一般会計決算額 | 18 |
| | (1) 歳入決算額 | 18 |
| | (2) 歳出決算額 | 19 |
| 2 | 特別会計決算額 | 20 |
| | (1) 歳入決算額 | 20 |
| | (2) 歳出決算額 | 20 |

I 令和4年度 未来創生文化部主要施策の成果の概要

1 県民との協働事業の推進

(未来創生政策課)

県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO、ボランティアなど、県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進するための各種支援事業を行うとともに、地域貢献活動への若者の参画を促進し、県民との協働事業を推進した。

2 多様な主体の活躍推進

(ダイバーシティ推進課)

社会を構成する多様な人々が持てる個性や能力を存分に発揮し、いきいきと活躍する「ダイバーシティ社会」の実現をめざし、「ユニバーサルカフェ」など地域の交流や支え合いを支援するとともに、シルバー大学校・大学院による学びの場の創出や、地域の担い手となるアクティブシニアの活躍支援、さらにはパリ2024パラリンピックに向け、障がい者スポーツ・文化芸術活動の振興を図った。

3 国際交流と多文化共生の推進

(ダイバーシティ推進課)

グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州をはじめとする友好交流提携州・省との相互交流を実施するとともに、外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進した。

4 人権を尊重する社会づくり

(男女参画・人権課)

「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、県民の人権意識の普及高揚を図り、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向け、各種啓発事業を実施するとともに、市町村や民間団体との連携・協力を図り、人権啓発を効率的・効果的に進めた。

また、本県における人権教育・啓発の推進拠点である人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の適正な運営を図った。

5 男女共同参画社会の実現

(男女参画・人権課)

「徳島県男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の総合的な推進拠点である「ときわプラザ（男女共同参画総合支援センター）」において、講演会やイベント等の事業を実施するほか、女性活躍の機運醸成と意識啓発を推進した。

また、「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、普及啓発、被害者に配慮した相談・保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま」を運営し、性暴力被害の防止に関する対策の推進を図った。

6 文化の振興

(文化・未来創造課)

「2025年大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、「あわ文化4大モチーフ」や「あわ三大音楽」を中心に、「あわ文化」の魅力に更に磨きをかけ、国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承・発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に展開し、次世代・後継者育成や地域活力の向上を図った。

また、引き続き本県の文化活動の拠点である、「あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)」、「文学書道館」及び「阿波十郎兵衛屋敷」の魅力ある管理運営を行った。

7 徳島文化芸術ホール（仮称）整備の推進

(文化・未来創造課)

「徳島県の文化芸術の力」を結集し、県民の文化活動の更なる促進や優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、さらにはにぎわいの創出を図るため、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた中核施設として、県都のランドマークとなる「徳島文化芸術ホール（仮称）」の整備を推進した。

8 文化財の保存・活用の推進

(文化資源活用課)

文化財の適切な保存とともに、地域の新たな観光資源として、その将来的な継承や利活用を通じて徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の活用や環境整備を実施した。

また、「四国遍路」及び「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組を推進するとともに、「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指した施策展開を図った。

9 「文化の森総合公園」の魅力度向上

(文化の森振興センター)

郷土徳島の自然と歴史・文化の特色を前面に打ち出した博物館新常設展を中心に、複合施設としての特色を活かした魅力ある企画展やイベントを実施し、誘客を促進するとともに、デジタルアーカイブ事業を推進することにより、各館所蔵資料への閲覧機会の増大を図った。

また、本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と魅力発信事業を実施した。

10 生涯スポーツの振興

(スポーツ振興課)

県民の誰もが、生涯にわたり、それぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」を実現するため、総合型地域スポーツクラブ等を活用したスポーツに参加しやすい環境づくりを推進した。

11 競技力の飛躍的な向上

(スポーツ振興課)

「令和4年度四国インターハイ」開催の機会を捉え、競技力の更なる強化を図るため、「徳島県国体飛躍対策本部」を中心に、ハード・ソフト両面からの抜本的対策を戦略的かつ重点的に展開した。

12 「国際スポーツ大会レガシー」の継承・発展

(スポーツ振興課)

国際スポーツ大会を通じて培った人的つながりや国際交流の促進などの「スポーツレガシー」を継承・発展させ、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」開催に向けた機運の醸成及び大会ノウハウ継承のため、オリパラのホストタウン相手国との交流をさらに推進するとともに、本県開催競技への支援等を行い、競技運営体制の整備等、準備を行った。

13 スポーツツーリズムの創造

(スポーツ振興課)

スポーツ施設の機能向上や様々なノウハウの蓄積といった国際スポーツ大会のレガシーを活用し、「徳島県スポーツコミッション」を核とした積極的なスポーツ大会・合宿の誘致を行うことで、国内トップレベルの選手・団体との交流による本県の競技力向上を図るとともに、交流人口拡大と地域活性化につながる「スポーツツーリズム」を推進した。

14 次世代育成支援対策の推進

(こどもまんなか政策課)

「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」に基づき、少子化対策をより一層強化し、「希望出生率1.8」をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施した。

15 子ども・子育て支援の推進

(こどもまんなか政策課)

「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施に向け、市町村との緊密な連携の下、待機児童解消に向けた保育士確保、認定こども園・保育所の整備や、「新・放課後子ども総合プラン」の着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めた。

16 青少年健全育成の推進

(こども家庭支援課)

「とくしま青少年プラン2022」に基づき、未来に向かって挑戦し、成長・活躍できる「とくしま」の実現に向け、家庭・学校・地域などが相互に連携・協力を図りながら、全ての青少年の健やかな育成や創造的な未来を切り拓く青少年の応援など、県民総ぐるみによる青少年育成を推進した。
また、若者が集う新たな交流拠点として、青少年センターを整備し、適正な運営を図った。

17 子どもの未来に向けた支援強化

(こども家庭支援課)

「徳島こども未来応援プラン」に基づき、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、こども女性相談センターや市町村の相談支援体制を強化するとともに、里親養育の支援や児童養護施設等の多機能化を推進した。
また、ひとり親家庭の自立に向けた就業・生活・経済的支援や、子どもの居場所づくりの促進、ヤングケアラーへの支援等、幅広い施策を推進した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|-------------|---------------------|--|
| 県民との協働事業の推進 | 地域活力再生ボランティア活動促進事業 | 地域活力の再生に向け、県民のボランティア活動を促進するため、「とくしまボランティア推進センター」を拠点として、時代の変化を見据えた、地域の抱える課題に対応した各種支援事業を実施した。 (19,156) |
| | とくしまパートナーシップ推進事業 | NPO、ボランティア、地域づくりなどの県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進するため、「とくしま県民活動プラザ」を拠点として、活動・交流の場の提供など各種支援事業を実施した。 (40,837) |
| | とくしま県民活動“つなぐ”プロジェクト | 共助社会の実現のため、シンポジウムの開催により本県の社会貢献活動を振り返り次世代へつなぐ契機とするとともに、学校等への出前授業や各種講座の実施により、NPOやボランティアの活動の活性化と人材育成を推進した。 (2,838) |
| | 吉野川交流推進費 | 川を生かした個性的で魅力ある地域づくり等の推進を図るため、吉野川を取り巻く多様な連携・交流の推進や県内外に向けた情報発信等を行う「吉野川交流推進会議」の運営を支援した。 (240) |
| 多様な主体の活躍推進 | ダイバーシティとくしま推進事業 | 本県が目指すダイバーシティ社会の理念と方向性を広く県民に伝えるため、フォーラム等の開催により、県民の機運醸成を図るとともに、多様な主体が共生し、交流し、活躍する「ダイバーシティとくしま」の実現に向けた取組を展開した。 (3,725) |
| | 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 | 高齢社会を明るく活力のある長寿社会とするため、シルバー大学校等を開講したほか、徳島県健康福祉祭の開催、さらには、地域活動や社会貢献活動の担い手となって活躍する「生きがいづくり推進員」の活動の支援を行った。 (137,843) |
| | ユニバーサルカフェ支え合い促進事業 | 地域における多様な生活・福祉ニーズに幅広く対応するため、子どもから高齢者、また障がいの有無や国籍を超えて、地域に住む全ての人々が気軽に利用できる多世代交流・多機能型交流拠点である「ユニバーサルカフェ」の整備を促進した。 (2,900) |
| | 障がい者スポーツ交流支援事業 | スポーツを通じた共生社会の実現を目的に、障がい者スポーツの裾野を拓げるための取組や、障がい者が身近な場所でスポーツを実施できる環境整備等を推進した。 (25,504) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|--------------------|-----------------------|---|
| 多様な主体の活躍推進 (続き) | 次世代パラアスリート発掘・育成事業 | パラリンピック等国際大会への本県からの出場選手輩出に向け、競技力向上を図るとともに、次世代を担うパラアスリートの発掘・育成に向け、障がい者スポーツ団体の育成強化を図った。また、幼少期から身近な地域で障がい者スポーツに親しむ機会を提供した。 (5,775) |
| | とくしま共生アートプロジェクト推進事業 | 障がい者による芸術文化活動の一層の振興を図るため、「障がい者芸術・文化活動支援センター」と連携して障がい者アーティストの創作活動や作品発表を支援し、芸術文化活動を通じ、障がいへの理解と障がいのある人とない人との交流を促進した。 (17,500) |
| | ユニバーサルデザイン啓発事業 | 障がいの有無、性別、年齢等にかかわらず、すべての県民がお互いに人格や個性を尊重し、支え合いながら暮らすことのできる共生社会を実現するため、ユニバーサルデザインに係る優良な取組の表彰を行うなど、「ユニバーサルデザインによるまちづくり」を推進した。 (3,385) |
| 国際交流と多文化共生の推進 | 国際人材育成・交流事業 | グローバル人材の育成や地域の国際化を推進するため、ドイツ・ニーダーザクセン州や中国・湖南省等との交流を実施するとともに、関係機関とも連携し、諸外国との交流を促進した。 (8,762) |
| | 外国人にやさしい徳島づくり推進事業 | 県内在住の外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進するため、とくしま外国人支援ボランティアの登録を促進するとともに、防災への意識を高めるため、「大規模災害時外国人対応想定訓練」や災害発生時に備えた支援のネットワークづくり等を実施した。 (12,465) |
| | とくしま国際戦略センター推進事業 | 外国人の受入れ体制を整備するため、「とくしま国際戦略センター」を設置し、多言語相談員（英・中・ベトナム）や4者間電話通訳システムによる外国人の生活相談を行う「多言語相談窓口」を運営するとともに、外国人の多様なニーズに対応する情報発信拠点として、外国人支援を実施した。 (20,000) |
| | ニーダーザクセン州友好交流15周年記念事業 | 本県とドイツ・ニーダーザクセン州との「友好交流提携15周年」を記念して、「徳島県ニーダーザクセン州公式訪問団」を派遣し、州政府機関等を訪問することで、今後の両県州の交流の更なる促進を図るとともに、州関係者に対して本県の魅力等を発信した。 (6,219) |
| 人権を尊重する社会づくり | 人権教育・啓発総合調整事業 | 「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、同和問題をはじめ広く人権全般についての各種啓発事業を実施した。 (17,682) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|-----------------------|---|
| 人権を尊重する社会づくり (続き) | 人権教育啓発推進センター運営費 | 県の人権教育啓発推進の拠点である人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」を運営するとともに、人権啓発イベントや人権講演会等、各種事業を実施した。 (77, 142) |
| | みんなが主役の人権啓発推進事業 | 人権に関わるNPOなどの民間団体の育成を図るため、団体が実施する人権啓発推進に関する創意工夫のある取組を募集し、事業委託の上、実施した。 (2, 563) |
| | 若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業 | 現在の社会情勢を反映した喫緊の人権課題への啓発を推進するため、若者を対象に人権啓発映像コンテンツを募集し、県民に発信した。 (762) |
| | 人権侵害ネットモニタリング強化事業 | インターネット上の差別書き込みの抑止・削減や人権意識の高揚を図るため、大学生等を中心にとくしま人権ネットモニターを募集し、連携してモニタリングを実施した。 (406) |
| | 隣保館運営費補助金 | 隣保館が、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となり、各種相談事業や交流事業等を総合的に実施するため、その運営費を助成した。 (262, 035) |
| | いきいき隣保館支援事業 | 隣保館の相談機能の強化と交流の拠点としての機能の充実を図るため、県隣保館連絡協議会に委託して、隣保館職員のレベルアップ研修及び専門相談員の派遣事業を実施した。 (2, 272) |
| 男女共同参画社会の実現 | 女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業 | 政策・方針決定過程への女性・若者の更なる参画拡大及び女性活躍推進のため、「公共政策」と「女性DX人材育成」をテーマに人材発掘及び育成機能を備えたプログラムを実施した。 (8, 635) |
| | 男女共同参画総合支援センター運営事業 | 県民の男女共同参画の活動を支え、交流や情報の収集・提供を活発化するため、「ときわプラザ(男女共同参画総合支援センター)」の運営を行った。 (48, 154) |
| | フレアキャンパス開講事業 | 男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発や人材育成を行うため、「ときわプラザ(男女共同参画総合支援センター)」において、各種講座等を開催した。 (2, 341) |
| | コロナに負けない！女性つながりサポート事業 | 新型コロナの感染拡大により孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、民間団体の知見や能力を活用したきめ細やかな支援を実施した。 (13, 862) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|---------------------|-----------------------|---|
| 男女共同参画社会の実現 (続き) | 若年層からの「ストップ！DV」推進事業 | 重大な人権侵害であるDV根絶のため「DVの被害者も加害者も発生させない」という視点から、デートDV防止セミナーの開催等、若年層からのDV予防教育・啓発を実施した。 (1,051) |
| | DV被害者自立支援事業 | 配偶者等からの暴力防止と被害者の自立支援の充実・強化を図るため、関係機関との連携強化や民間団体の活動支援などを実施した。 (2,148) |
| | 性暴力被害者支援センター運営費 | 性暴力被害者への支援の充実を図るため、24時間対応の相談体制の整備や関係機関と連携した産婦人科医療などの支援を実施した。 (4,827) |
| 文化の振興 | 「阿波人形浄瑠璃」魅力発信派遣事業 | 徳島が誇る「阿波人形浄瑠璃」の魅力を広く発信するため、「ドイツ・ニーダーザクセン州友好交流15周年記念事業」として人形座を派遣し、阿波人形浄瑠璃の文化的な背景の解説と合わせて公演を行った。 (9,959) |
| | 放課後子ども文化体験プログラム事業 | 次代を担う子ども達に音楽の魅力や楽しさを伝えるとともに、将来の演奏家や観客層を育成することを目的として、「放課後子供教室」にプロの演奏家を派遣した。 (2,892) |
| | 徳島県民文化祭開催事業 | 本県の文化芸術の裾野拡大や地域活性化を推進するため、県民主役の「徳島県民文化祭」を開催し、発表機会や鑑賞機会を創出した。 (9,150) |
| | 「吉野川・あわ文化」を巡る文化観光推進事業 | 徳島ならではの「文化観光」を確立し、地方創生の実現に向けた文化・観光・経済の好循環を図るため、観光客の移動に係る利便性の向上や、伝統的な「あわ文化」を新たな観光資源として活用する体験プログラムの実施など、「吉野川・あわ文化」を体験・体感できる機会を創造した。 (26,481) |
| | とくしま文化・未来創造事業 | 「あわ文化」の継承・発展はもとより、新たな「あわ文化」の創造や「あわ文化」によるまちづくりの推進を図るため、「とくしま文化・未来創造支援費補助金」により県民全体の文化芸術活動を支援した。 (30,117) |
| | 「あわ三大音楽」連携創造事業 | 県民が主役となった文化芸術の発表・鑑賞機会の創出及び音楽文化の裾野拡大のため、県民主役のクラシックコンサートを開催した。 (6,814) |
| | 阿波十郎兵衛屋敷管理運営費 | 指定管理者制度により、県立阿波十郎兵衛屋敷の管理運営を行うとともに、施設の安全性を高めるための修繕を行った。 (29,355) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------------|-------------------------------|---|
| 文化の振興 (続き) | 郷土文化会館運営費 | 指定管理者制度により、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の管理運営を行うとともに、施設の安全性や機能性を高めるための修繕を行った。 (211, 045) |
| | 文学書道館運営費 | 指定管理者制度により、県立文学書道館の管理運営を行うとともに、資料の収集・整理・保存を行った。 (204, 236) |
| 徳島文化芸術ホール（仮称） 整備の推進 | 新ホール整備事業費 | 「縣市協調新ホール整備基本計画」（令和3年3月策定）に基づき、新たな「文化芸術創造発信拠点」を整備するため、令和3年11月から令和4年6月まで「基本設計」を行うとともに、令和4年7月から「実施設計」に着手した。また、建設予定地において埋蔵文化財調査を実施した。 施設の管理運営の方向性を示すため、「事業展開」「施設管理」「運営体制」等をまとめた「徳島文化芸術ホール（仮称）管理運営計画」を令和5年3月に策定した。 (379, 283) |
| 文化財の保存・活用の推進 | 魅力実感！ふるさと徳島の文化財重点保存活用事業 | 文化財の保存・活用を図るため、重要伝統的建造物群保存地区の整備や国指定文化財の防火設備の設置を推進するとともに、同地区において、シンポジウム等を開催した。 (4, 058) |
| | 温故知新！「いにしえ」を訪ねて「ミライ」を創るプロジェクト | 「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、レキシルとくしま（埋蔵文化財総合センター）において、埋蔵文化財速報展等を開催するとともに、地域において、学校文化財展等を開催した。 また、レキシルとくしまにおいて、所蔵する「重要文化財」の保存修理を行った。 (8, 110) |
| | 埋蔵文化財発掘調査・出土品整理事業 | 文化財保護に資するため、吉野川河川改修事業、四国横断自動車道関連事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等を実施した。 (325, 466) |
| | 「四国遍路」を世界遺産に！ 推進プロジェクト | 「四国遍路」の世界文化遺産登録に向け、資産の保護を進めるため、札所寺院、遍路道の文化財調査を行うとともに、県内関係団体との意見交換や講演会の開催等、機運の醸成を図った。 (23, 697) |
| | 「鳴門の渦潮」世界遺産登録 推進事業 | 「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を推進するため、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会において、学術的な調査や調査結果の普及啓発活動を実施した。 (3, 700) |
| | ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト | 「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指すため、鳴門市、独ニーダーザクセン州、リューネブルク市と共同申請の準備を進めるとともに、機運の醸成を図った。 (573) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------|-------------------------|---|
| 「文化の森総合公園」の魅力度向上 | 日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト | 本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と周辺環境調査及び魅力発信事業を実施した。 (34,000) |
| | 文化の森デジタルアーカイブ構築事業 | 文化の森各館所蔵の貴重資料への閲覧機会を増大させ、来館者の増加に結びつけるため、資料のデジタル化を推進し、手軽に閲覧利用できる環境を提供した。 (13,460) |
| | とくしまネットワーク図書館システム更改費 | 電子書籍閲覧サービスへのアクセス環境を整えるなど、来館が困難な人にも図書館サービスを提供できる仕組みを構築するとともに、来館者の増加に結びつけるため、Web上で図書館が所蔵する資料をより魅力的に提示できるシステムを提供した。 (64,265) |
| | 博物館誘客強化事業 | 令和3年8月にオープンした「新生・博物館」の県内外への知名度や来館者の満足度の向上を図るため、観覧環境の整備やコンテンツの拡充を進めるとともに、情報発信を強化した。 (18,000) |
| | ユニバーサルミュージアム展開事業 | より多くの人に美術を楽しむ機会を広げるため、「ユニバーサル美術館展」の年度テーマを「高齢者」に設定し、会話しやすいサウンドマスキング空間や交流プログラムを実施するとともに、ホームページの改善や普及冊子の作成を行った。 (3,533) |
| | 県立図書館「知の拠点」事業 | 「一歩先の未来を先取る図書館」を目指し、電子書籍閲覧サービスの充実を図るとともに、子どもの本等の資料の充実や読書振興、市町村立図書館・学校図書館のサポートを図り、県民の読書、仕事、知的探究を応援する「知の拠点」として、機能強化を図った。 (43,500) |
| | 文化の森各館企画展等開催費 | 本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。 (42,088) |
| 生涯スポーツの振興 | 「自転車でひろがる人・まち」づくりプロジェクト | 県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興等を図るため、サイクリングやポタリングの開催により「自転車王国とくしま」ブランドを強力に発信した。 (4,346) |
| | スポーツDX推進事業 | 新型コロナウイルス感染防止のため、運動不足の状況にある障がい者や高齢者、外出することが困難な子育てや介護を行う方々が、「新たな日常」の下、安全・安心にスポーツに取り組むことができるよう、DXを活用した持続可能なスポーツ環境の整備、運動実施に向けた機運醸成を図った。 (3,500) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|--------------------------|--|
| 生涯スポーツの振興 (続き) | スポーツ・イン・ライフ創造事業 | スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」づくりを推進するため、だれもが日常的にそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図った。 (19,148) |
| | 「全国レクリエーション大会 in 徳島」開催事業 | 令和5年9月に本県で開催される国内最大規模の生涯スポーツとレクリエーションの祭典「第77回全国レクリエーション大会2023 in とくしま」に向け、県内外でPRを実施し、スポーツの裾野拡大と県内スポーツのさらなる振興を図った。 (1,275) |
| 競技力の飛躍的な向上 | 徳島育ち競技力向上プロジェクト | 本県出身選手の全国大会等での活躍に資するため、優れた素質を有するジュニア競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる一貫指導システムを構築するとともに、トップ指導者の養成に取り組む団体を支援した。 (18,267) |
| | 国民体育大会派遣費 | 令和4年度の国民体育大会(本大会・冬季大会)や四国ブロック大会に選手役員を派遣するため、旅費・宿泊費等必要な経費を補助した。 (44,865) |
| | あわスポーツ・医科学強化プロジェクト | 本県の競技力向上を図るため、スポーツ医科学情報を活用し、トップレベルの競技者・指導者を育成・サポートする環境を構築した。 (1,548) |
| | オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト | 東京2020オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会に対する機運を一過性のものとせず、確実に競技力向上をレガシーとして継承するため、オリンピック選手の輩出及び国体の順位向上を図った。 (147,221) |
| 「国際スポーツ大会レガシー」の継承・発展 | ワールドマスターズゲームズ関西レガシー先行事業 | 再延期された世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ2027関西」開催に向け、本県開催競技への支援及び広報等を行い、各競技会における運営機能及び受入体制の向上、さらに、本番大会の開催に向け、機運の醸成及び大会ノウハウの継承につなげた。 (5,744) |
| | とくしまスポーツレガシー実装事業 | 国際スポーツ大会のレガシーを活用した本県スポーツの競技力向上、国際交流の深化や地域活性化を図るため、「東京2020オリンピック・パラリンピック」のホストタウン相手国との交流を行った。 (7,574) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|--------------|----------------------|---|
| スポーツツーリズムの創造 | 新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業 | 徳島県スポーツコミッションを核に、積極的なスポーツ大会・合宿の誘致を行うことで、国内トップレベルの選手・団体との交流を通じた本県競技団体の競技力向上を図るとともに、交流人口拡大と地域活性化につながる「スポーツツーリズム」を推進した。(12, 187) |
| 次世代育成支援対策の推進 | とくしま在宅育児応援クーポン事業 | 保育所等を利用せず、在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児している世帯の負担感を軽減するため、様々な子育て支援サービスの利用料の支払いに使用できるクーポンを交付する市町に対して、補助を行った。(9, 233) |
| | チーム育児推進！事業 | 子育ての孤立化を防ぎ、子育て家庭の負担感を軽減するため、夫婦の協働を中心に、周囲に頼りながら楽しく育児を行う「チーム育児」を推進した。(5, 467) |
| | とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業 | 社会全体で独身者の結婚の希望が叶う環境を整備するため、「とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)」を拠点として、マッチング(お見合い)、イベント、セミナー及び個別相談会を実施するなど、市町村、企業等関係機関と連携しながら、独身者の出会いと結婚を後押しする結婚支援を行った。(27, 493) |
| | 地域少子化対策強化事業 | 本県の少子化対策をより一層強化するため、市町村が実施する結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない取組を支援した。(1, 738) |
| | 子育て総合支援センター事業 | 地域の子育て機能の総合力を高め、次世代育成支援を推進するため、子育て支援団体のネットワーク形成、子育て支援関係者に対する情報提供、専門的な相談への対応等の機能を持つ「子育て総合支援センターみらい」を運営した。(1, 378) |
| | 徳島県次世代はぐくみ未来創造基金積立金 | 徳島県の未来を創造する次世代の人材を育み、人口減少を克服するため、「徳島県次世代はぐくみ未来創造基金」を活用し、結婚、妊娠・出産及び子育てに対する支援、その他の次世代育成並びに地方創生に資する事業を実施した。(300, 030) |
| | 妊産婦の新型コロナウイルス対策支援事業 | 新型コロナウイルス感染症に不安を抱える妊婦に対して、分娩前に受検するウイルス検査に要する費用を支援した。(2, 480) |
| | 子どもはぐくみ医療助成費 | 子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、中学校修了までの入院医療費及び通院医療費に対する助成を行い、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進した。(1, 109, 574) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|---------------------|--|
| 次世代育成支援対策の推進 (続き) | このとり応援事業 | 出産を希望する世帯を広く支援し、少子化対策の推進を図るため、令和3年度に開始し医療保険が適用されない不妊治療（体外受精・顕微授精）について、費用の一部を助成した。 (52, 773) |
| | Mv ライフプランニングサポート事業 | 将来のライフプランを見据えた健康的な生活を送ることの重要性を若い世代に広く周知するため、LINEアカウントを開設し、性と生殖に関するQ&A方式での知識の提供や情報発信、ライフプラン教育動画を作成し、妊娠・出産等の正しい知識や「プレコンセプションケア（妊娠前からのヘルスケア）」について、普及啓発を行った。 (9, 429) |
| | 旧優生保護法一時金支給等関係事業 | 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金支給事務を円滑に行うため、支給手続に関する周知啓発や一時金請求に係る受付事務を実施するとともに、当事者や家族に対する相談支援を実施した。 (2, 924) |
| 子ども・子育て支援の推進 | 放課後子ども総合プラン推進事業 | 「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため、放課後児童支援員等の資質の向上や放課後児童クラブの受け皿の確保を推進した。 (13, 271) |
| | 放課後児童対策事業費 | 就労等により、昼間家庭に保護者がいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブの運営費支援等を行った。 (457, 367) |
| | 放課後児童クラブ利用料軽減事業 | 共働き家庭等の「小1の壁」を打破し、保護者負担の軽減を推進するため、第3子以降、ひとり親世帯等の児童に係る放課後児童クラブの利用料無料化に取り組む市町村に対し補助を行った。 (17, 805) |
| | 保育人材確保等推進事業 | 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施により、子どもを生き育てやすい徳島を実現するため、「保育士・保育所支援センター」のマッチング体制強化による保育人材確保や保育士等の資質向上に向けた取組を総合的に推進した。 (21, 470) |
| | 保育士試験対策講座実施事業 | 保育士試験の合格率の底上げを図り、県内保育所等への就職を促進するため、保育士資格取得を目指す方を対象に試験対策講座を実施した。 (2, 750) |
| | 保育士養成施設に対する就職促進支援事業 | 保育人材の確保を図るため、指定保育士養成施設における、県内保育所等への就職促進につながる積極的かつ新たな取組に対して支援を実施した。 (72) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|----------------------|----------------------|--|
| 子ども・子育て支援の推進 (続き) | 保育士修学資金等貸付事業 | 保育人材の確保を図るため、保育士資格取得のための修学資金や潜在保育士の再就職時の就職準備金等について貸付を実施した。 (8, 075) |
| | 多様な子育て支援推進交付金事業 | 「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」に基づき、地域における子育て環境の向上を図るため、市町村が策定した子ども・子育て支援事業計画に沿って実施する地域子ども・子育て支援事業等に対し補助を行った。 (488, 715) |
| | とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業 | 持続可能な子育て環境の向上を図るため、「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」の基本方針に基づき、子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金で積極的に支援することにより、市町村における機動的かつ戦略的な子育て支援策の推進を図った。 (13, 887) |
| | 阿波っ子はぐくみ保育料助成事業 | 多子世帯における経済的負担を軽減するため、保育所等における3歳未満の第3子以降の保育料無償化に取り組む市町へ補助を行った。 (80, 347) |
| | とくしま保育対策総合支援補助金事業 | 「第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)」に基づき、子どもを安心して育てることができる環境整備を図るため、アクティブシニア等の多様な人材の活用等を行う事業に対し支援を行った。 (33, 083) |
| | 認定こども園整備事業費補助金 | 教育と保育の一体的提供、待機児童の解消、幼児教育の環境改善等を図るため、認定こども園の施設整備に要する経費を市町村が補助する事業及び社会福祉法人が認定こども園の環境整備を行う事業に対し補助を行った。 (113, 415) |
| | 児童保護措置費(子ども・子育て支援法分) | 子ども・子育て支援法に基づき、幼児期の教育・保育支援の「質」と「量」の向上を目指すため、教育・保育の実施及び無償化等に要する経費の一部を負担した。 (3, 079, 732) |
| 青少年健全育成の推進 | 子ども・若者育成支援強化推進事業 | 子ども・若者への支援を強化するため、「徳島県子ども・若者総合相談センター」による相談事業を実施するとともに、支援者の養成をはじめ、フューチャーセッションを通じて地域社会の持続的発展の実現に貢献する人材の育成を図った。 (3, 036) |
| | 青少年センター機能移転事業 | 新たな青少年センターをJR徳島駅前アミコビルへ移転するとともに、旧センターを解体した。 (1, 003, 141) |

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|--------------------|-----------------------|---|
| 青少年健全育成の推進 (続き) | 青少年センター開館記念事業 | J R 徳島駅前アミコビルへ移転した青少年センターの利用促進を図るため、開館記念イベントを開催した。 (5, 163) |
| | 青少年センター管理運営事業 | 青少年の健全な育成を図るとともに幅広い層の県民に対するサービスを提供するため、「青少年センター」の適正な維持管理・運営を行った。 (166, 399) |
| 子どもの未来に向けた支援強化 | 退所児童自立支援資金貸付事業 | 児童の自立促進を図るため、児童養護施設等の退所児童等に対し、住居費等の貸付を行った。 (1, 191) |
| | 虐待関係職員専門性強化事業 | 児童虐待の発生予防から迅速・的確な対応、アフターケアまで、切れ目のない支援を図るため、児童相談所への弁護士の配置及び児童福祉司等の専門性を強化する研修を実施した。 (2, 605) |
| | “STOP児童虐待”児童相談所体制強化事業 | 児童虐待に迅速・適切に対応し、児童の安全の確保、児童虐待の防止を図るため、児童相談所の相談機能等の強化を行った。 (1, 295) |
| | こども未来応援プラン推進事業 | 徳島県社会的養育推進計画「徳島こども未来応援プラン」に基づき、フォスタリング体制構築や児童養護施設等の小規模化かつ地域分散化のための施設整備等を支援した。 (93, 011) |
| | 社会的養護自立支援事業 | 措置延長を終了する児童養護施設等の入所児童の自立促進を図るため、相談体制を整え、原則22歳の年度末まで引き続き居住、生活費の支援を行った。 (12, 895) |
| | ヤングケアラー支援事業 | 潜在化している「ヤングケアラー」を早期発見・把握するため、学校ICTを効果的に活用した実態調査を実施するとともに、関係機関や専門職員を対象としたオンライン研修等を実施した。 (1, 273) |
| | ひとり親家庭自立支援給付事業 | ひとり親家庭の自立を支援するため、能力開発に必要な経費の一部や資格取得期間中の生活費の一部を支給した。 (25, 114) |
| | ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 | 高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親を支援するため、入学準備金及び就職準備金の貸付を行うとともに、自立に向け意欲的に取り組むひとり親家庭の親を支援するため、住宅支援資金の貸付を行った。 (20, 495) |
| | ひとり親家庭等医療費助成事業 | ひとり親家庭の親及びその扶養する児童並びに父母のない児童の保健の向上及び福祉の増進を図るため、入院費及び子どもの通院費の助成を行った。 (25, 697) |

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事業内容及び成果 |
|------------------------|-----------------------|---|
| 子どもの未来に向けた支援強化 (続き) | ひとり親家庭等かがやく未来 応援事業 | ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定を図るため、ひとり親家庭等が抱える多くの複雑な問題に対し、就業及び生活面において幅広く総合的に支援した。 (22, 220) |
| | 子どもの居場所づくり推進事 業 | 子どもたちを地域で見守り、交流できる場を提供する子ども食堂や学習支援、体験活動等の充実を図るため、コーディネーターを配置し、「子どもの居場所」づくりの取組を支援した。 (11, 400) |
| | 未収金対策強化事業 | 母子父子寡婦福祉資金貸付金の適正な管理と、未収金削減のため、サービサー（債権回収会社）に居所調査や督促業務の一部を委託し、債権回収の強化を図った。 (231) |
| | 児童保護措置費（児童福祉法 分） | 児童福祉法に基づき、児童の心身の安全及び適切な養育環境を確保し、心身の健やかな発達及び社会的な自立を促進するため、児童福祉施設への措置に要する経費の一部を負担した。 (1, 517, 687) |
| | 児童扶養手当法施行給付費 | 児童扶養手当法に基づき、父又は母と生計を共にしていない児童等が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、年間所得が基準限度額以下の世帯で、18歳（障がいのある児童の場合は20歳）に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を対象として手当を支給した。 (718, 080) |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付金 | 母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。 (102, 152) |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 比 較 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|-------------------------------|
| 未 来 創 生 政 策 課 | 2,248,000 | 1,990,340 | 1,990,340 | 0 | 0 | △257,660 |
| ダイバーシティ推進課 | 150,976,000 | 150,397,653 | 150,397,653 | 0 | 0 | △578,347 |
| 男女参画・人権課 | 282,823,000 | 283,012,706 | 283,012,706 | 0 | 0 | 189,706 |
| 文化・未来創造課 | 499,753,000 | 244,904,905 | 244,904,905 | 0 | 0 | △254,848,095 |
| 文化資源活用課 | 374,592,000 | 361,938,784 | 361,938,784 | 0 | 0 | △12,653,216 |
| 文化の森振興センター | 273,912,000 | 273,921,044 | 273,921,044 | 0 | 0 | 9,044 |
| スポーツ振興課 | 239,144,000 | 227,428,864 | 227,428,864 | 0 | 0 | △11,715,136 |
| こどもまんなか政策課 | 1,798,864,000 | 534,162,675 | 534,162,675 | 0 | 0 | △1,264,701,325 |
| こども家庭支援課 | 2,150,452,000 | 1,989,950,018 | 1,955,892,961 | 2,528,832 | 31,528,225 | △194,559,039 |
| 計 | 5,772,764,000 | 4,067,706,989 | 4,033,649,932 | 2,528,832 | 31,528,225 | △1,739,114,068 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|---------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------------------------|
| 未 来 創 生 政 策 課 | 2,550,479,000 | 2,509,616,630 | 0 | 40,862,370 | 40,862,370 |
| ダイバーシティ推進課 | 368,910,000 | 347,778,253 | 0 | 21,131,747 | 21,131,747 |
| 男女参画・人権課 | 575,710,000 | 543,822,623 | 0 | 31,887,377 | 31,887,377 |
| 文化・未来創造課 | 1,368,076,000 | 933,937,827 | 384,445,000 | 49,693,173 | 434,138,173 |
| 文化資源活用課 | 466,384,000 | 434,210,118 | 1,792,000 | 30,381,882 | 32,173,882 |
| 文化の森振興センター | 949,440,000 | 913,767,191 | 23,100,000 | 12,572,809 | 35,672,809 |
| スポーツ振興課 | 1,198,271,000 | 1,101,576,390 | 0 | 96,694,610 | 96,694,610 |
| こどもまんなか政策課 | 9,211,171,000 | 7,472,545,061 | 198,439,000 | 1,540,186,939 | 1,738,625,939 |
| こども家庭支援課 | 5,481,685,000 | 4,627,636,175 | 438,148,000 | 415,900,825 | 854,048,825 |
| 計 | 22,170,126,000 | 18,884,890,268 | 1,045,924,000 | 2,239,311,732 | 3,285,235,732 |

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|-----------------|-----------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|---------------------------------|
| こども家庭課 支 援 課 | 母子父子寡婦 福祉資金貸付金計 特別会 計 | 189,031,000 | 355,971,325 | 197,632,851 | 4,220,326 | 154,118,148 | 8,601,851 |

(2) 歳出決算額

(単位：円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|-----------------|-----------------------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------------------------|
| こども家庭課 支 援 課 | 母子父子寡婦 福祉資金貸付金計 特別会 計 | 189,031,000 | 102,152,422 | 0 | 86,878,578 | 86,878,578 |